

THERMO COLLECTOR RTC-10

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。

■ご注意

本製品を正しくご使用するために、本書を必ずお読みください。
パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または、全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
- Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標です。
会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した画面表示内容と、実際の画面表示が異なる場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は一般の民生・産業用として使用されることを前提に設計されています。人命や危害に直接的または、間接的に関わるシステムや医療機器など、高い安全性が必要とされる用途にはお使いにならないでください。
- 本製品の故障・誤動作または、不具合によりシステムに発生した付随的の傷害、測定結果を用いたことによって生じたいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証書・無料修理規定をよくお読みください。


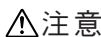
安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお守りください。




お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容を良く理解された上でお使いください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例：△ 感電注意)
	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例：⊘ 分解禁止)
	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。 (例：● 電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

強制

本製品を取り付け、使用する際に、必ずパソコンメーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。



強制

本製品内部に液体や異物が入ったら、電源を OFF にし、電池を抜いてください。
そのまま使い続けると、火災や感電する恐れがあります。



水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったりや感電・故障する恐れがあります。



強制

RTC-10 本体・電池・通信ケーブルは、お子様の手の届かない所に設置、保管してください。
さわってけがをしたり、電池を飲むと危険です。



強制

パソコンおよび、データロガーに接続されている通信ケーブルを電話回線に接続すると、火災・故障の恐れがあります。



強制

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源を OFF にし、電池を抜いてください。
そのまま使い続けると、火災や感電する恐れがあります。



強制

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
与えてしまった場合は、すぐに電源を OFF にして、電池を抜いてください。
そのまま使い続けると、火災や感電する恐れがあります。

⚠ 注意

強制

本製品は防水構造ではありません。
汚れた場合は、アルコールをしみ込ませた清潔な布で拭いてください。



禁止

通信ケーブル接続ジャックには指や異物を入れないでください。



強制

電池寿命は、電池の種類・測定環境・通信回数・周辺温度・乾電池の性能等により電池寿命は異なります。



強制

電池端子は、経時変化・振動等により接触不良になる恐れがあります。
電池の接触不良によってデータが失われることがあります。

⚠ 注意



強制

長期間本製品を使用しない場合は、安全のため電池を取り外してください。

電池を入れたままにしておくと電池から液漏れする恐れがあり、故障の原因になります。



強制

温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露する恐れがあります。

本製品は周辺温度：0～50℃・湿度：90% RH 以下（結露しないこと）で使用してください。



強制

薬品や有害なガスにより、本製品等が腐食する恐れがあります。また、有害な物質が付着することにより人体に害をおよぼす恐れがありますので、薬品や有害なガス等の影響を受ける環境では使用しないでください。



禁止

静電気による破損を防ぐために、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損または、データを損失・破損させる恐れがあります。



禁止

次の場所には設置しないでください。

感電・火災の原因になったり、製品やパソコンに悪影響をおよぼすことがあります。

- 強い磁界が発生するところ

故障の原因になります。

- 静電気が発生するところ

故障の原因になります。

- 振動が発生するところ

けが・故障・破損・接触不良の原因になります。



禁止

次の場所には設置しないでください。

感電・火災の原因になったり、製品やパソコンに悪影響をおよぼすことがあります。

- 平らでないところ

転倒したり、落下して、けがや故障の原因になります。

- 直射日光が当たるところ

内部の温度が上がり、火災や故障、変形の原因になります。

- 火気の周辺または、熱気のこもるところ

故障や変形の原因になります。

- 漏水の危険があるところ

故障や感電の原因になります。

はじめに

- 安全上のご注意 ii
- サーマコレクターとは 1
- パッケージ内容 3
- 各部の名称とはたらき 4

準備

- 電池を入れる 7
- 電源を入れる 8
- メニュー一覧 9
- 日付・時刻を合わせる 11

基本的な機能

- 記録条件の設定 12
- データの吸い上げ 15
- 液晶グラフ画面 17

その他の機能

- 温度の上下限判定
 - ・ 上下限範囲を設定する 19
 - ・ 保存データの判定結果を見る 20
- 液晶の調整 21
- 操作ブザー音を消す 22

その他の機能

- メモリ使用量の確認 22
- 保存データをグラフ表示する 23
- RTC-10 とパソコンを接続する 25
 - ・ ミニベースとして使う 26
- データ消去 27

その他

- 製品仕様 29
- 無料修理規定 34
- 保証書 裏表紙

サーモコレクターとは

◆概要

測定場所に設置された RT-11 (10) / RS-11 (10) / RT-21S (20S) / RT-30S / RTW-20S / RTW-30S で記録したデータを収集するデータ収集装置です。

パソコンのない場所でも記録の開始や収集したデータを本体液晶画面でチェックできます。

◆基本的な機能

●多機種のデータを簡単収集

RT-11 (10) / RS-11 (10) / RT-21S (20S) / RT-30S / RTW-20S / RTW-30S / TEU-10 のデータをまとめて収集できます。

●256000 データ収集

例えば、RT-11 (8000 データ×2ch.) のフルデータを 16 台分収集できる大容量です。また、最大 250 回分のデータを収集し、管理できます。

●グラフィック液晶でグラフ表示

収集したデータをその場でグラフ表示できます。ジョグダイヤルや本体前面のボタンによって左右にスクロールができ、データ確認が簡単できます。

●ジョグダイヤルであらゆる操作が可能

ジョグダイヤルを上下に回転させメニューの項目等を選択し、押すと操作が決定されます。

●吸い上げ時に温度チェック

RTC-10 に温度の上限値・下限値を設定しておくと、データ吸い上げ時に記録データが設定範囲内かを判定し、判定結果を表示します。

※判定は温度データに対してのみ有効です。湿度・電圧データに対しては判定できません。

●記録条件設定も可能

RT-11 (10) / RS-11 (10) / RT-21S (20S) / RT-30S / RTW-20S / RTW-30S のデータロガーに対して記録開始日時・記録間隔・記録開始方法の設定ができます。

●バックアップ機能

電池電圧が低下すると、データを保持するためスリープモードに入り、電池の消耗を抑えます。

※本体がスリープモードになってから 1 ヶ月程度電池交換をしなかったり、電池を外して 20 分以上放置すると、記録データは消失します。

●電池寿命警告を表示

電池電圧が低下すると、液晶に電池寿命警告マークが点灯します。更に電池電圧が低下すると、自動的にスリープモードになり本体の電源が入らなくなり、記録データを保護します。

●単 4 アルカリ電池で約 100 時間連続使用可能

単 4 アルカリ電池 (LR03) 2 本で連続動作約 100 時間の長寿命です。

単 4 アルカリ電池の他に、単 4 ニッケル水素電池・ニッケル水素電池 (1.2V) も使用できます。

※電池寿命は、電池の種類・測定環境・通信回数・周辺温度等により異なります。本説明は新しい電池を使った時の標準的な動作であり電池寿命を保証する物ではありません。

●オートパワー OFF 機能搭載

電池の消耗を防ぐために、電源を入れたまま 3 分間操作しないと自動的に電源が切れます。

●バックライト付き

暗い場所でも液晶が見やすいようにバックライトを点灯できます。バックライトの ON/OFF はメニューで簡単に切り替えられます。

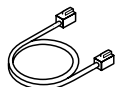
※バックライトは、電池の消耗をさける為に操作しないと数秒で自動的に OFF になり、操作を開始すると自動的に ON になります。

パッケージ内容

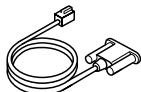
パッケージには以下のものが含まれております。



THERMO COLLECTOR RTC-10 ソフトウェア CD-ROM 1枚
1台



通信ケーブル RTCH-1010
(1m) 1本



パソコン通信ケーブル RS-232C
(D-sub 9ピン・1m) 1本



単4アルカリ電池 2本



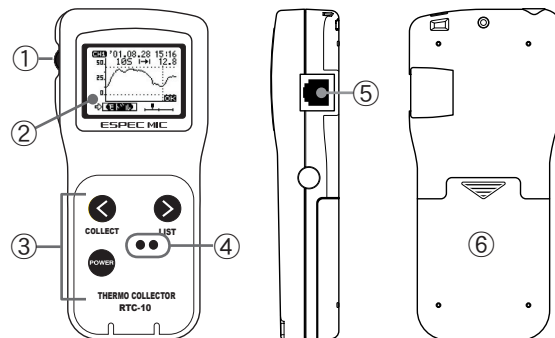
本体取扱説明書・保証書
1部(本書)



ソフトウェア取扱説明書
・保証書 1部

各部の名称とはたらき

◆各部の名称



- ① ジョグダイヤル
- ② 液晶表示部
- ③ ボタン操作部
- ④ 赤外線通信部
- ⑤ 通信ケーブル接続ジャック
- ⑥ 電池蓋

◆各ボタンの機能説明



COLLECT

- ・データロガーからデータの吸い上げを開始します。
- ・グラフ表示時に高速スクロールできます。



LIST

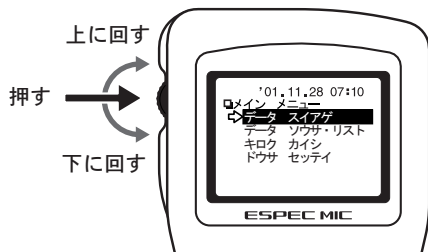
- ・吸い上げたデータの一覧を表示します。
- ・グラフ表示時に高速スクロールできます。



POWER

- ・電源を入れる、または切ります。

◆ジョグダイヤルの使い方



〔ジョグダイヤルを回す〕

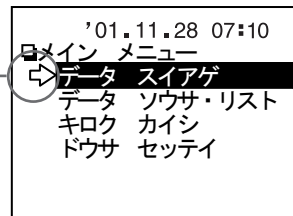
- 上または、下に回すと矢印が移動し、項目の選択ができます。
- 数値を設定する場合、上に回すと数値が大きくなり、下に回すと数値が小さくなります。

〔ジョグダイヤルを押す〕

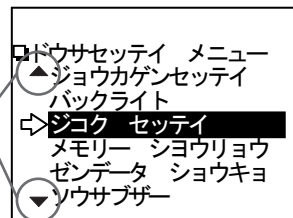
- メニューの選択、設定完了時に押すと、実行または、決定になります。
- 各画面で長押し（1.5秒）すると、画面ごとに違うはたらきをします。
 - ・グラフ画面で長押しと、表示チャンネルの切り替えができます。
 - ・各メニュー画面や設定画面で長押しすると、メインメニュー画面に戻ります。

◆液晶画面の操作方法

矢印のある項目が選択されています。
ジョグダイヤルで矢印を移動し、項目の選択をします。

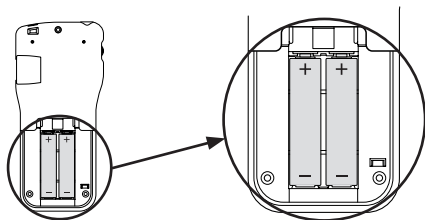


▲の印が向いている方には更にメニュー項目があることを表示しています。



電池を入れる

- ◆単4アルカリ電池2本をセットする。



- 市販の単4 Nicd 電池、単4 ニッケル水素電池 (1.2V) も使用できます。

⚠注意

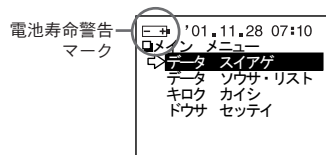
- 2本とも同じ種類の電池を入れてください。
- +・-を間違えないようにセットしてください。
- RTC-10 本体から電池の充電はできません。

〔電池寿命〕

電池電圧が低下すると液晶表示部に電池寿命警告マーク (E→) が点灯し、電池の消耗を知らせます。

更に低下すると、自動的にスリープモードになり通常の動作を停止し、電源が入らなくなります。完全に電池がなくなるとデータは消失してしまうので、早目に電池交換を行ってください。

本体から電池を外し20分以上放置すると、記録データは消失してしまいますので、注意してください。



電源を入れる

- ◆POWER ボタンまたは、ジョグダイヤルを押し、電源を入れる。



- 電源を切る場合は、[POWER]ボタンを押すと、切れます。ジョグダイヤルから電源を切ることはできません。
- 通信中に[POWER]ボタンを押しても、電源を切ることはできません。

〔オートパワー OFF〕

本機の電源を入れたまま3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため自動的に電源が切れます。

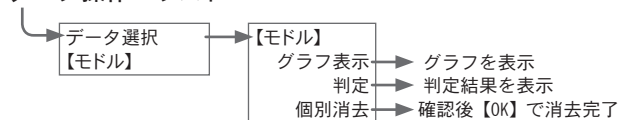
そのまま使いたい時は、電源を入れ直してください。

… メニュー 一覧 …

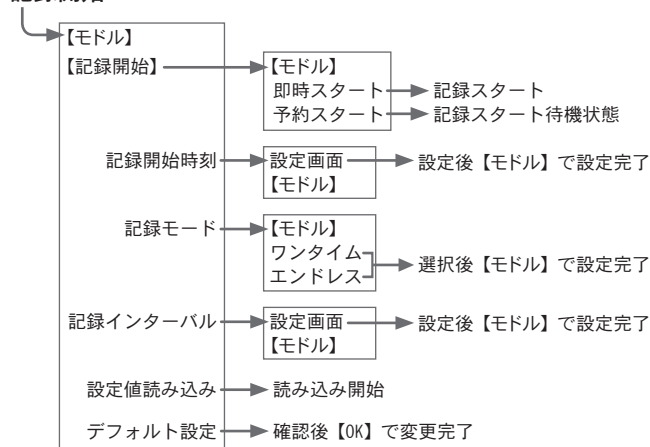
データ吸い上げ



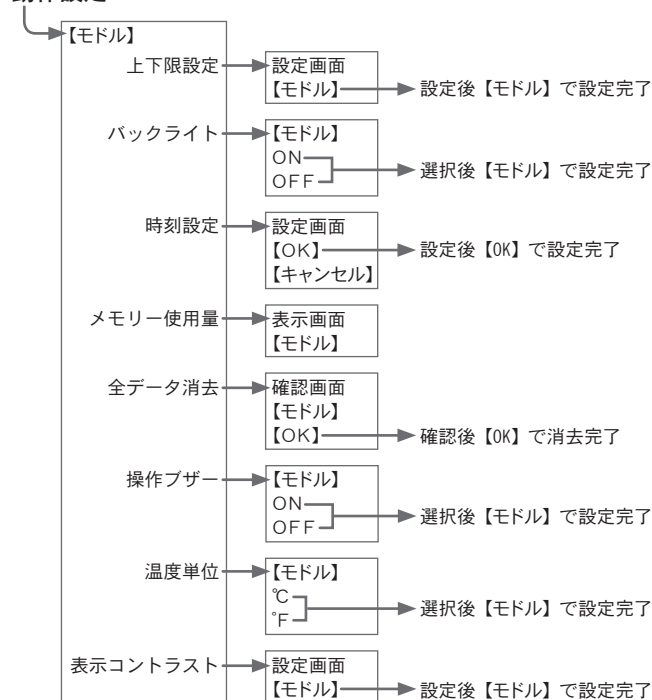
データ操作・リスト



記録開始



動作設定



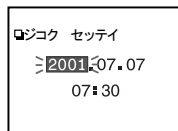
準備

日付・時刻を合わせる

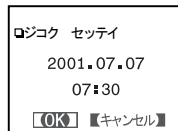
※ RTC-10 本体の日付・時刻が正確でないと、予約スタートの開始時刻、吸い上げたデータの記録時刻が違ってしまいますので正確に設定してください。

1. メインメニューより「ドウサ セッテイ」-「ジコク セッテイ」を実行します。
2. 数値の設定をします。

- ① ジョグダイヤルを回すと、数値部分が反転しながら年→月→日→時間→分の順に移動し、押すと数値が点滅します。
- ② ジョグダイヤルを回して、数値を設定し、押すと数値が確定され、次の項目に移ります。



3. 設定が完了したら、【OK】に合わせ、実行すると設定が終了します。



※日付・時刻の設定は、パソコンからでもできます。詳しくはソフトウェアの中のヘルプまたは、THERMO RECORDER for Windows の取扱説明書を参照してください。

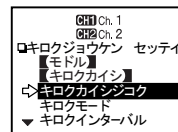
記録条件の設定

◆データロガーの記録条件の設定をする。

本体からは以下の動作設定ができます。

- 記録開始時刻の設定
- 記録モード
- 記録間隔（記録インターバル）

1. メインメニューより「キロク カイシ」を実行し、各条件を設定します。

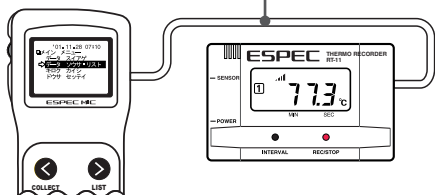


- 記録開始時刻
指定した時刻から記録開始できます。（予約スタート時に設定）
- 時刻設定と同様の操作で時刻を合わせ【モデル】で設定完了
- 記録モード
ワントタイム…記録データ数が記録容量に到達すると、以降の記録を停止します。
エンドレス…記録データ数が記録容量に到達すると、1番古いデータから上書きしながら記録を続けます。
- ワントタイムまたは、エンドレスを選び、【モデル】で設定完了
- 記録間隔（記録インターバル）
1・2・5・10・15・20・30秒・1・2・5・10・15・20・30・60分の計15通りの中から選べます。
※機種により設定できない記録間隔があります。
- 数値を選び、ジョグダイヤルを押すと設定完了

2. データロガーと RTC-10 を接続し、通信ができるように準備します。

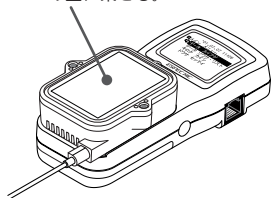
[RT-11/10・RS-11/10・TEU-10]

付属の通信ケーブル (RTCH-1010) で接続する。



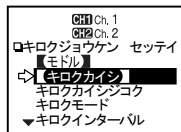
[RT-21S/30S/20S・RTW-20S/30S]

RTC-10 の上に乗せる。

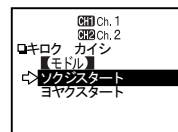


●光が入ると通信エラーになることがありますので、枠に合わせて乗せてください。

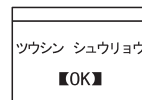
3. 各条件設定後、矢印を【キロクカイシ】に合わせ、実行します。



4. 「ソクジスタート」または、「ヨヤクスタート」を選び、実行すると、通信を開始します。



5. 通信が終了すると、メッセージが表示され、ジョグダイヤルを押すと設定が終了します。



即時スタートを設定したデータロガーは記録を開始します。予約スタートを設定したデータロガーは記録スタート待機状態になります。

『設定値読み込み』とは

- RTC-10 に接続されているデータロガーの設定条件を RTC-10 に読み込むことができます。

『デフォルト設定』とは

- 初期設定値に戻すことができます。
初期設定値 - 記録モード：エンドレス
記録間隔：10分
チャンネル名：1 チャンネル…ch. 1
2 チャンネル…ch. 2

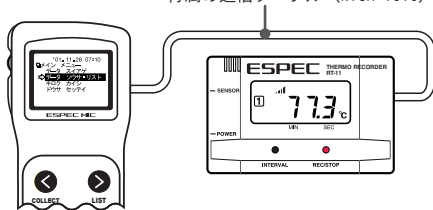
データの吸い上げ

◆データロガーが記録したデータを吸い上げる。

1. データロガーと RTC-10 を接続します。

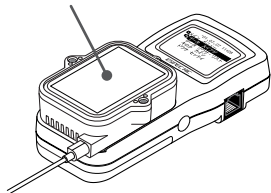
[RT-11/10・RS-11/10・TEU-10]

付属の通信ケーブル (RTCH-1010) で接続する。



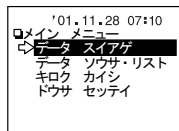
[RT-21S/30S/20S・RTW-20S/30S]

RTC-10の上に乗せる。



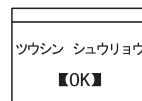
●光が入ると通信エラーになることがありますので、枠に合わせて乗せてください。

2. メインメニューより「データ スイアゲ」を実行または、[COLLECT] ボタンを押すと、吸い上げを開始します。

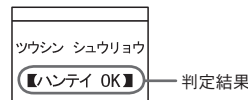


3. 吸い上げが終了すると、メッセージが表示されます。

ジョグダイヤルを押すとグラフ画面になります。

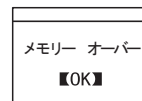


●吸い上げ前に上下限設定で、判定を[ON]にしてある場合は、吸い上げ終了時に判定結果が表示されます。



※本体のメモリー残が不足していると、記録データの吸い上げができません。

吸い上げ時に記録できるかチェックしてから吸い上げを開始します。もしメモリー残が不足している場合は、『メモリーオーバー』と表示されます。吸い上げを行う前に確認してください。確認方法は 22 ページを参照してください。



●必要な記録データはパソコンで吸い上げ、保存し、RTC-10 本体に保存されているデータは削除してください。

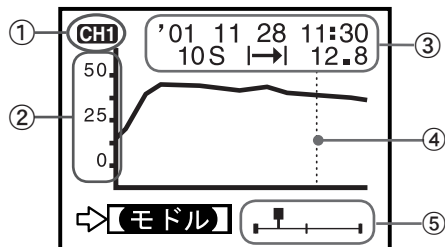
データ削除の方法は、27・28 ページを参照ください。

●目安として、RT-11 フルデータ (8000×2ch.) で 16 台分 (256000 データ)、最高 250 回分のデータを収集し、管理できます。

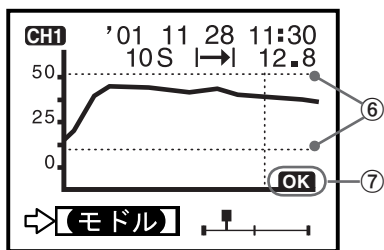
… 液晶のグラフ画面 …

RTC-10 で吸い上げたデータをグラフ表示できます。グラフは1チャンネル毎に表示され、ジョグダイヤルや本体のボタンによって左右にスクロールできます。

※電圧データの表示単位はV（ボルト）です。



[上下限判定を ON に設定してある場合]



①表示チャンネル

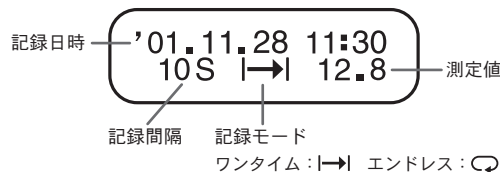
記録データが2チャンネル分ある場合、ジョグダイヤルを長押し（1.5秒）するとチャンネルが切り替わります。

②スケール

温度の表示単位を華氏（F）表示にしたい場合は「ドウサセッテイ」-「オンドタンイ」で設定できます。

③データ情報

カーソルバー位置の測定情報を表示します。



④カーソルバー（固定表示）

カーソル位置を表示し、液晶上部に測定情報を表示します。

⑤カーソル

全データのどの部分のグラフを表示しているかを表示します。ジョグダイヤルや本体ボタン（◀または▶）でスクロールできます。

⑥上下限判定範囲

上下限判定の設定してある場合に、範囲が表示されます。
※温度・電圧データは判定ができないので、表示されません。

⑦上下限判定結果

上下限判定を設定してある場合に、判定結果が表示されます。

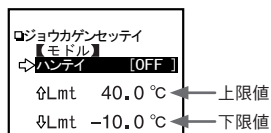
温度の上下限判定

温度の上限値・下限値の範囲を設定しておく、記録データの吸い上げ時に記録データが設定範囲内かを判定し、判定結果を表示します。

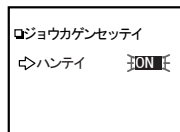
※判定は、温度データに対してのみ有効です。湿度・電圧データに対しては判定できません。

◆上下限範囲を設定する。

1. メインメニューより「ドウサセットイ」-「ジョウカゲンセットイ」を実行します。
2. 矢印を「ハンテイ」に合わせ、実行します。

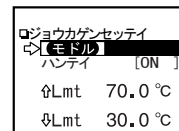


3. [ON]を選び、実行します。



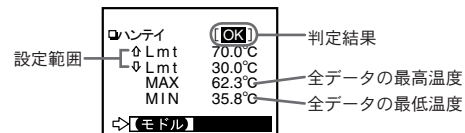
4. 同じ要領で「↑ Lmt」(「↓ Lmt」)の数値を変更します。

5. 設定が完了したら、矢印を【モドル】に合わせ、実行すると設定が終了します。

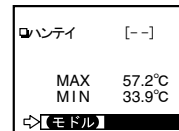


◆保存データの判定結果を見る。

1. メインメニューより「データソウサ・リスト」を実行し、リストから判定したいデータを選びます。
2. 「ハンテイ」を実行すると、判定結果が表示されます。



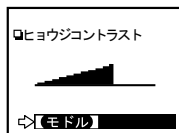
- 吸い上げる前に上下限設定してない場合は、判定結果は『--』と表示され、最高値・最低値のみの表示になります。



液晶の調整

◆コントラストを調整する。

1. メインメニューより「ドウサセッテイ」-「ヒョウジコントラスト」を実行します。
 - ・ジョグダイヤルを上に戻すと液晶表示が濃くなり、下に回すと薄くなります。



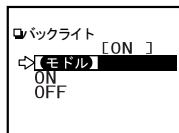
2. 設定が完了したら、ジョグダイヤルを押すと設定が終了します。

◆暗い所で見やすいバックライトをつける。

1. メインメニューより「ドウサセッテイ」-「バックライト」を実行します。



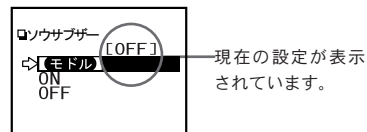
2. 矢印を「ON」に合わせ、実行すると、設定が完了します。



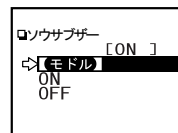
3. 矢印を【モドル】に合わせ、実行すると終了します。

操作ブザー音を消す

1. メインメニュー「ドウサセッテイ」-「ソウサブザー」を実行します。



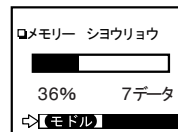
2. 矢印を「ON」に合わせ、実行すると、設定が完了します。



3. 【モドル】でメインメニューの画面に戻ります。

メモリー使用量の確認

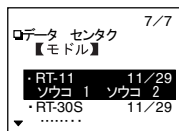
1. メインメニュー「ドウサセッテイ」-「メモリーショウリョウ」を実行します。



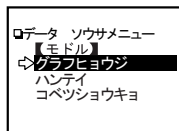
2. ジョグダイヤルを押すと、メインメニュー画面に戻ります。

保存データをグラフ表示する

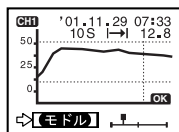
1. メインメニューより「データソウサ・リスト」を実行または、[LIST]ボタンを押します。
2. データ選択画面から表示したいデータを選びます。



3. 「グラフヒョウジ」を実行します。



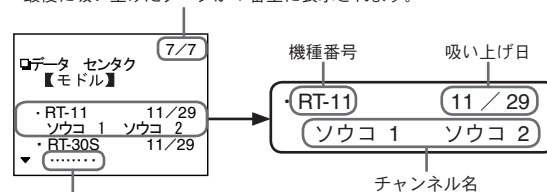
4. グラフが表示されます。



〔データリストの見方〕

データ数 (7データ中の7番目)

・最後に吸い上げたデータが1番上に表示されます。



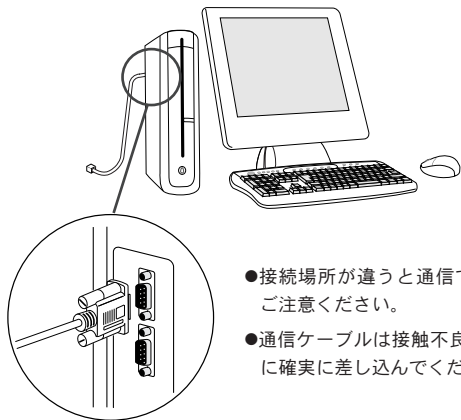
- チャンネル名の『……』は、直接データロガーとパソコンを接続し、記録条件設定をした時にチャンネル名を全角で入力した場合は『……』で表示されます。
- RTC-10 から記録開始設定を行ったデータロガーのチャンネル名は CH1 または、CH2 と表示されます。

RTC-10 とパソコンを接続する

記録データの吸い上げ等でパソコンと通信を行う場合、付属のパソコン通信ケーブルを使い RTC-10 とパソコンを接続します。

1. パソコンに通信ケーブルを接続します。

- パソコンのシリアルポートに付属のパソコン通信ケーブル (RS-232C) を接続します。



- 接続場所が違くと通信できませんので、ご注意ください。
- 通信ケーブルは接触不良が起きないように確実に差し込んでください。

シリアルポートマークの一例

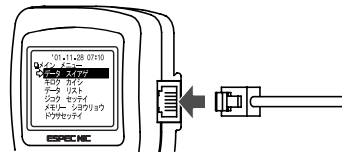


通信ケーブル接続口は、D-Sub 9 ピンメスです。



この様なマークがある所に接続してください。

2. RTC-10 に通信ケーブルを接続します。



- 通信ケーブルは、接触不良が起きないように確実に差し込んでください。

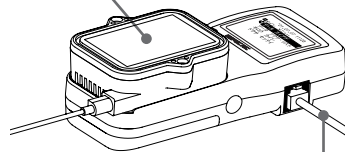
※記録データの吸い上げ・編集は、付属の THERMO RECORDER for Windows® で行います。

ソフトウェアの使い方は、『THERMO RECORDER for Windows』の取扱説明書または、ソフトウェアの中のヘルプを参照してください。

〔ミニベース RT-21B の代わりに使う〕

パソコンと RTC-10 を接続した状態で RTC-10 の上に RT-21S (20S) / RT-30S / RTW-20S / RTW-30S を乗せるとミニベースのように使用できます。

RTC-10 の上に乗せる。



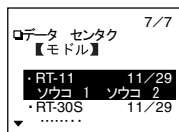
パソコン通信ケーブル (パソコンへ)

- 光が入ると通信エラーになることがありますので、枠に合わせて乗せてください。

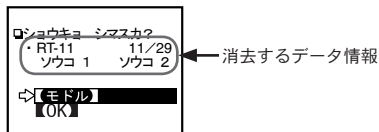
データ消去

◆指定したデータを消去する。

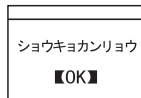
1. メインメニューより「データソウサ・リスト」を実行し、リストから消去したいデータを選び、実行します。



2. 「コベツショウキョ」を実行すると、確認メッセージが表示し、よければ矢印を【OK】に合わせ、実行します。

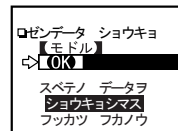


3. 完了のメッセージが表示され、ジョグダイヤルを押すと消去が終了します。



◆全データを消去する。

1. メインメニュー「ドウサセッテイ」-「ゼンデータショウキョ」を実行します。
2. 確認メッセージが表示し、よければ矢印を【OK】に合わせ、実行します。



3. 完了するとメッセージが表示され、ジョグダイヤルを押すと消去が終了します。



●記録条件等の設定は消えません。

消したい場合は、「記録開始」-「デフォルト設定」で初期状態に戻せます。

製品仕様

適合機種	RT-21S・RT-30S・RTW-20S・RTW-30S・RT-11・RS-11・TEU-10 (RT-10・RS-10・RT-20S)
記録容量	256000 データ RT-11 のフルデータ 16000 データ×16 台分 最大 250 個分のデータを収集・管理
機能	接続機器のデータ吸い上げ (吸い上げ終了時、上下限温度判定表示可能)・保存データのグラフ表示・保存データの最大温度/最低温度の表示・接続機器の記録開始設定・保存データの消去 (1 データ消去、全消去)・メモリー残量表示
液晶表示	動作メニュー・保存データグラフ表示・電池寿命警告・カレンダー付時計・コントラスト調整可能・液晶バックライト
電源	単 4 アルカリ電池 (LR03) 2 本 (単 4 NiCd・ニッケル水素 1.2V 電池にも対応)
電池寿命	連続動作で約 100 時間 オートパワー OFF 機能有り (3 分間操作をせずに放置すると自動的に電源を OFF にします。) (電池寿命は電池の種類・使用環境・通信回数・電池の性能により異なります。)
データ バックアップ	スイッチ OFF 時 約 1 年 電池電圧がなくなると保存データはなくなります。
インターフェイス	モジュラージャック
通信速度	: シリアル通信 (RS-232C) 19200bps (パソコン間) 9600bps (データロガー間) : 光通信 : 2400bps (データロガー間)

通信時間	RTC-10 内の保存データパソコン転送時間: ロガー 1 台分のフルデータあたり 約 25 秒 RTC-10 で RT-11 (10)・RS-11 (10) データ吸い上げ時間: データフルで 1 台 約 50 秒 RTC-10 で RT-21S (20S)・RT-30S データ吸い上げ時間: データフルで 1 台 約 160 秒
本体寸法	H125 mm×W58 mm×D25.5 mm (突起部除く)
本体重量	約 115g (単 4 アルカリ電池 2 本を含む)
本体動作環境	温度 : 0 ~ 50℃・湿度 : 90% RH 以下 (結露しないこと)
付属品	パソコン通信ケーブル 1 本 (RS-232C:D-Sub9 ピン ケーブル長 1.5m)・データロガー通信ケーブル 1 本 (RTCH-1010 ケーブル長 1m)・単 4 アルカリ電池 (LR03) 2 本・取扱説明書 (保証書) 一式・ソフトウェア 一式

M E M O

M E M O

■
そ
の
他

■製品に関するお問い合わせ先

エスペックミック株式会社

〒480-0138 愛知県丹羽郡大口町大御堂 1-233-1

TEL:0587-95-6369 FAX:0587-95-4833

お問い合わせ受付時間 * 月曜日～金曜日 (弊社休日は除く)

9:00～12:00 13:00～17:00

〔Web サイト・エスペックミック〕

インターネットでも情報を提供しております。

<http://www.especmic.co.jp>

THERMO COLLECTOR RTC-10 取扱説明書

2001年12月 第1刷 発行

発行 株式会社 エスペックミック



古紙配合率 100%再生紙を使用しています。